

## 2-1 命令文 and SV ...の正体

### — and は「そうすれば」、or は「さもないと」なのか？

#### 1 〈命令文 + and〉は「そうすれば...」の意味？

90年代前半くらいまでに高校受験を経験された方なら、〈命令文 + and / or ...〉は、「～しなさい、そうすれば... /さもないと...」と訳す、といったことをまるで公式のように暗記した（させられた）のではないのでしょうか？ また、そうした文を接続詞 if を用いて書き換えさせる問題もかつての高校入試の定番でした。

#### (1) Study hard, **and** you will get a good grade.

「一生懸命勉強しなさい。そうすればいい成績が取れる」

→ **If** you study hard, you will get a good grade.

最近では高校入試もだいぶ様変わりし、このような設問を見かけることは少なくなりましたが、この表現自体は特殊なものでもなく、むしろ各種試験で問われることも目立つようになっています。

#### (2) Replace our language by another **and** we would be like blind people forced to live in a house where every room has been equipped with different furniture, newly arranged.

「我々の言語を別の言語に置き換えてしまうなら、我々はすべての部屋に今までと違う家具が備え付けられ、その配置も新たにされた家で暮らさざるをえない目の不自由な人ようになるであろう」

[注] replace A by B AをBで置き換える be equipped with ～が備わっている

こうした例を見ていると、あたかも and が if 節の代わりにしているかのように思われ、そのため and が特別な意味になるかのような印象を受けます。しかし、and 自体に「そうすれば」などという特別な意味があるのでしょうか？

「そうすれば」は、これまでお話ししてきた and の本質的意味（並列・ペア、連続性）の延長にすぎません。つまり、

- 「AしてBする」⇨「Aすれば、Bする」

と、「連続性」の意味が延長されただけで、特別な意味でも用法でもないことがわかります。確かに日本語としては、and の部分だけを切り取れば、「しなさい、そうすれば...」の「そうすれば」という意味を表すように思えてしまわなくもないですが、これを〈命令文 + and ...〉と特殊な表現であるかのようにとらえるのは考えものではないのでしょうか？

#### 2 or の場合も

or の場合も同様です。詳しくは3-3で扱いますが、or の意味は「二者択一」です。A or B は「A するか（それとも）B するか、どちらか1つ」という意味になります。すなわち「A するなら B はできない」⇨「A しないうら B する」という意味になるだけの話です。これも and の場合と同様に、or の持つ基本的の意味の延長にすぎません。

- or = 二者択一：「A か B のいずれか」

#### (3) Hurry up, **or** you'll miss the bus.

「急がないとバスに間に合わないよ」

▶ hurry up **or** you will miss the bus

A = 急ぐか B = 乗り遅れるか ⇨ どちらか1つ

「覚せい剤やめですか、それとも人間やめですか」という覚醒剤撲滅のキャンペーンをご記憶の方も多いと思いますが、まさにこのA or Bの二者択一そのものです。

**3** 命令文の代わりになる表現

〈命令文 + and / or ...〉の and や or が特殊な意味でもなんでもないことはおわかりいただけたと思いますが、この表現自体がパターン化していることは事実です。また、この変形バージョンとして、命令文の部分が名詞のみの場合、すなわち〈名詞 and/or ...〉もあります。

(4) One more effort, **and** you'll make it.

「もうひとふんばりすれば、きつとうまくいくよ」

(5) One mistake **and** he could be in serious trouble for the rest of his career.

「1つミスをすれば彼は今後の仕事でずっとトラブルに巻き込まれる可能性がある」

また、命令文に準じる表現として、〈You must do ~ and/or ...〉という表現も見られます。

(6) You must keep going **and** you will get what you want in the end.

「ずっと頑張っていれば、最後には望みのものが手に入る」

(7) You must obtain permission **or** you will be breaking the law.

「許可をもらわないと違法行為になりますよ」

**4** 「今でしょ！」は英語で？

ちなみに、かつて流行語になった「今でしょ！」は英語にするなら、どういえばいいかわかりでしょうか？

**Now or never!**

これが、まさに「今でしょ」に相当します。(もちろん、この英語表現の方が「今でしょ」よりもはるか以前から使われています) これがなぜ「今でしょ」になるかといえば、もともとは次のような表現が省略されたものです。

## ▶ (Do it) now, or (you may) never (do it).

これも A or B の原義を考えれば、「今やるか (= A)、永久にやらないか (= B)」という二者択一ですから、「今やらないなら、永久にやることはない」⇨「やるなら今しかない」ということになることは明白です。

ただし、これは now の n と never の n が韻を踏んでおり、ゴロもいいため、省略表現で使うのがふつうです。

**まとめ**

- 〈命令文 (または命令文に準じる表現) + and / or ...〉の and や or の意味は、本来の「連続性」「二者択一」の延長  
 ⇨ 特別な意味でもなんでもない